



安城市議会議員 石川つばさ通信 号外

# 市政レポート

## 後期高齢者広域連合議会を傍聴 外から見た議会改革の必要性



2月8日、名古屋市東区のホテルメルパルク名古屋で平成29年第1回愛知県後期高齢者医療広域連合議会定例会が開催され、傍聴に足を運びました。今年が平成の奇数年であり保険料の引き上げはありませんが、保険料軽減措置見直しを巡り議論が交わされました。

結果から言えば、いずれも国の方針に基づく原案通りの可決になりました。3月にはこの議決結果を踏まえた新年度予算(案)が県内の各市町村議会に上程されることとなります。負担力を無視した方針や、被保険者の声が届きにくい広域連合方式への問題提起はこれまでも行なってきましたので、今回は少し違った切り口から傍聴の感想を記したいと思います。

- ①不活発な議論
- ②一部の不遜議員
- ③不十分な情報提供

①定数34のうち発言をしたのは5名にとどまりました。発言する議員は何度も発言し、発言しない議員は終始無言というコントラストが印象的でした。

②発言しないだけならまだしも、他の議員の発言中に隣の議員と私語、長時間席を立つ、背もたれに両手を垂らす(全て同一議員)といった不遜は目に付きました。

③傍聴者への配布資料は議案名や質問タイトルが記されているだけで、余程の予備知識がない限り議論の全容を掴むことは不可能であると実感しました。

議員には見えづらく、傍聴者の立場だからこそ見える部分もあります。こうした改善点は安城市議会にも当てはまっており、教訓を持ち帰りたいと思います。

石川翼事務所 446-0072 安城市住吉町荒曾根 1-245 アワーズビル 2F 南  
電話 0566-98-6932 メール [ishikawa2011@aria.ocn.ne.jp](mailto:ishikawa2011@aria.ocn.ne.jp)

編集:石川つばさを支援する会